

広島民医連NEWS

広げよう！平和憲法と人権守る大運動

ヒロシマから、戦争法案の強行採決に抗議し、 廃案・撤回を求める 広島民医連・会長声明を国会へFAX

7月15日午後、戦争法案が衆議院で強行採決されました。

広島民医連は、強行採決を受けて、会長名による抗議声明を国会へFAXしました。

いのちと人権を守る広島民医連は、二度と戦争を許さないという被爆地ヒロシマの多くの人々とともに集会・デモ、署名行動などで戦争法反対の声をあげています。

声明では、戦争と原爆による幾多の犠牲のうえに掲げられた憲法 9 条を守り抜き、戦争法案を廃案に追い込むために運動を広げることがを表明し、自民党・公明党に対して、すみやかに戦争法案を撤回・廃案することを強く要望しています。

広島中央保健生協 ストップ戦争法！アピール宣伝行動に40名超



7月15日夕方、広島中央保健生協では社保委員会が中心となり、強行採決への抗議の宣伝に取り組みました。緊急の呼びかけにこたえて、職員40名以上が福島生協病院前の緑地帯に集合し、オリジナルのプラカードを手に通行人や車にアピールしました。杉本先生をはじめ職員のみなさんが次々マイクを握り、廃案を訴えました。来週も水曜日、金曜日にも予定されています。



← 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」の呼びかけで、原爆ドーム前には130名が集まり、マスコミも取り上げました。